

一般飲食店における荷姿の物を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
1	14～ 15	厨房内の食器洗い場において、汚れた食器の返却台（高さ98cm）に食器が入ったプラスチック製ケース（40×50×18cm）があった。そのケースを両手で持ち足元に置こうとしたとき、ケースが重く腰に痛みが生じ、その後も痛みが治まらなかった。	56	30 ～ 49
1	9～ 10	店舗厨房内のウォークイン冷蔵庫にてオープン作業の為、タレ缶を移動させようと持ち上げたところ、膝を伸ばしたままの無理な体勢で持ち上げた為に、ぎっくり腰になってしまった。	46	—
1	22～ 23	営業終了後の後片付け時に、店舗裏口の外倉庫内の暗くて、段差が有り足元の悪いスペースで、500mlのビール中びんケース約20kgを運び出そうとして、ビールケースを持ち上げた瞬間に腰を捻り、腰に激しい痛みを感じてそのまま動けなくなった。	48	—
1	20～ 21	フロアにおける後片付け作業中、テーブルクロスの交換後に、テーブル中央へ載せるターンテーブル（円形、直径68cm、重さ17kg）を両手で抱えテーブルに載せようとした際に、誤って手を滑らせターンテーブルが落下し、左足親指の上にターンテーブルが直撃した。	28	10 ～ 29
1	20～ 21	被災労働者が、店舗からテナントゴミ捨て場へゴミを捨てに行く際、フロアに置いてあった催し物用に搬入されていた鉄のコンテナに右大腿部を強打し被災した。	47	10 ～ 29
1	10～ 11	ゴミ置場入口にゴミが入ったゴミ箱が2つあり、邪魔になるため動かそうと思って抱えた時、腰に痛みが生じた。	57	50 ～

				99
2	14~15	ウォークイン冷蔵庫から牛肉8kg入りのダンボールをリーチイン冷蔵庫に運び、膝を曲げて屈みリーチイン冷蔵庫内下段に牛肉ダンボールを入れる作業中、膝を曲げた際に左膝に激痛が走る。	46	—
3	10~11	移動販売車のキッチンにてそばつゆを作るため、高さ120cmの鍋に水を入れるため、飲料水用ポリタンク20ℓを持ち上げ注ごうとしたとき、腰に痛みを感じヘルニアになった。	46	1~ 9
3	10~11	温冷蔵庫前でつゆの入った20Lの寸胴（8分目までつゆが入っている）を持ち上げる際に、通常とは異なる置き方をしたため、ぎっくり腰を負った。	49	30 ~ 49
3	22~23	調理場で油缶（1斗缶）を2個、両手で運んでいた時、ギックリ腰になり動けず、救急搬送された。	28	10 ~ 29
3	15~16	売場にて商品提供時、足元の荷物入れに足を取られ、左足膝より転倒した。	55	10 ~ 29
4	17~18	勤務先のアイスクリーム店にて、アイスクリーム（5kg~10kg程度）をショーケースに補充するためバックヤードより運搬している際に負傷した。アイスクリーム補充作業は、ショーケースのアイスクリームが少なくなる度に行うもので、被災労働者のみが行うものではない。	33	10 ~ 29
4	18~19	ハンバーグ補充のため、ハンバーグ21個入りのホテルパン（縦53cm横32cm深さ10cm重さ約5kg）を解凍庫より移動させたあと、グリル前ドロアーに入れる際に左手親指部分に力がかかりバキと音がし、痛みが発生し、持つ掴む等の動作ができなくなった。	51	10 ~ 29
4	10~11	開店準備中、店舗厨房内にてフライヤーの油を油缶に移す際に、油を厨房の床にこぼしそうになったため手を出した際、油缶の開口部分に右手人差し指と中指が当たり裂傷した。	35	10 ~ 29

5	10～ 11	店舗バックヤードにて、大きくて重たい氷をストックカーに入れる為に持ち上げたところ、ストックカーに乗り上げた際にバランスを崩し、左脇腹がストックカーに当たり骨折した。	68	100 ～ 299
5	14～ 15	就業中、食器を殺菌庫にしまう際、一番下の段に座り立ち上がった直後に動けなくなり、激痛が生じた。（過去に負傷した箇所が悪化）なお、食器の重量は10kgであった。	47	10 ～ 29
5	2～3	キッチンのフライヤーの油を下から抜いて一斗缶に入れ、フライヤーの掃除をした後、抜いた油をフライヤーに戻すため一斗缶を持ち上げた際に背中を痛めた。その後も勤務を続けたが痛みが引かず、肉離れと診断された。	64	10 ～ 29
5	12～ 13	厨房床に野菜類の入ったダンボールが置いてあり、右足が引っ掛かり躓いて左横倒れになり、左手でカバーしたところ左手首付近を骨折した。	68	1～ 9
6	8～9	店舗にて、洗米してある米（4kg）を冷蔵庫から出そうと持ち上げた時に腰に痛みがあり、違和感を感じた。人が少ないため夕方まで勤務し、足の痺れが酷いため退社した。	30	10 ～ 29
6	1～2	配送の荷物を持ってオリコンを押している時に、荷物が重かったため力を入れたところ足を捻った。	54	1～ 9
6	10～ 11	納品業務をしている時、足元にあった納品ケースに足が引っ掛かり、転倒して左足大腿骨を強打した。	70	10 ～ 29
6	12～ 13	揚げ物油を処分する作業中に油を持ち上げた時、腰に痛みが出た。	42	—
7	23～24	うどんを流水で洗う作業中に、うどんが入ったホテルパンパッドをシンクに下ろそうとした時に、両手指第二関節をシンクとホテルパンパッドの間に挟み、負傷した。その後、後ろにのけぞり背中を壁にぶつけ、負傷したもの。	62	1～ 9
7	9～10	厨房で配送を行っていた際、配送番重に右手薬指をぶつけた。	43	30 ～ 49

7	10～ 11	厨房から空のビールサーバーの樽を3個（5kg×3個）両手で持ち、外に運び出す作業中に、腰部を捻り負傷した。その後も業務を続けていたが、麺つゆ（商品）の容器（10kg）を移動するため持ち上げる作業の際に痛みが強くなった。	42	30 ～ 49
7	11～ 12	店内バックヤードにて、カゴ台車から荷物を降ろしている際に振り返ったところ、置いてあった段ボールに躓き転倒し、床に強打して左肘橈骨骨折を負った。	42	30 ～ 49
7	15～ 16	冷蔵庫を持ったときに手が滑って、冷蔵庫が右足の親指に乗り、足を怪我した。	34	1～ 9
7	15～ 16	厨房内洗い場で洗い物の作業中、オーダーが通ったので餃子場に行こうとしたとき、洗い場の下に置いていたシャール箱（餃子を入れている箱）に足が躓き転倒した。その際に左手をついたため、左手肘の骨にひびが入り、胸に打撲を負った。	53	30 ～ 49
7	10～ 11	店舗内備品庫にて、重さ17kgの米の納品をしていたときに、狭い空間内での作業であったため、無理な体勢で米を抱えたことにより、左肩を負傷した。	41	30 ～ 49
9	10～ 11	店舗内厨房において仕込み作業を行う為、配送されてきた氷入り魚の入った入荷箱（重量7～8キロ）を持ち上げた際、腰に激痛がはしり床に倒れ、そのまま起き上がれない状態となった、後日、急性腰痛症（ぎっくり腰）と診断された。	47	10 ～ 29
9	12～ 13	厨房ホールで食器カゴ（10kg～15kg）をワゴンに移す時に、腰をひねった。	62	10 ～ 29
9	18～ 19	店内ホールにおいて、ビール樽（20?）を持ち上げて一歩ふみ出した瞬間に、腰に激しい痛みが走った。	52	1～ 9
9	19～ 20	ゴミを捨てに行く際、厨房倉庫内に保管してある炭酸ガスを倒してしまい、右母趾を打撲した。	17	10 ～ 29
9	21～ 22	当社事業所店舗奥厨房にて、一斗缶のフタを缶切りで開け、開けたフタを広げようと素手でフタのふちを持ち上げたところ、反動でフタが戻ってしまい、フタのふち	19	10 ～

		で右人指し指を切ったものである。		29
10	21～22	レストラン店舗内、クローズ作業準備の為に、床に置いていたPOPの入ったバスタブをまたごうとした際、POPに足が引っ掛かり、バスタブから1個落ちたのを踏んで転倒し、後頭部を打撲し、左足首を骨折した。	59	30～49
10	5～6	厨房内にて、冷凍してあったガラ1箱を分離させるため、箱ごと床に落下させたところ、誤って自分の右足先に落としてしまい、右足親指先を痛めてしまった。大した事はないだろうと、勤務終了まで勤務し帰宅、睡眠をとり夕方起床したところ、ひどい痛みと腫れていたため、受診した。	36	10～29
10	9～10	オープン準備中に、廃油を空の油缶に移す際、油の重さに耐え切れず手が滑ってしまい、油缶の切り口に指が刺さってしまった。	32	10～29
10	11～12	ユニット冷蔵庫内で食材を片付けている時に、マグナムワイン6本の入った番重（9キロ）を前かがみになって持ち上げたら、腰に激痛が走った。痛みがひどく歩けなかったので、作業を中止し早退した。重い番重は無理に持ち上げずに、ずらしたり、内容物をバラして片付けるように指示していく。	36	10～29
11	17～18	バックヤードにあるプレハブ冷蔵庫内で、ネギの入ったケースを出そうとしたところ、冷蔵庫内の壁にケースをぶつけてしまい、衝撃でケースの角が、右側肋骨に当たってしまった。数日、様子を見たが、痛みが取れず受診した。	48	10～29
11	19～20	店内厨房で、8クッカーフィルタータンクセッティング時、床に置いたタンク（約10kg～15kg）を少し持ち上げてレールにはめ込む作業中に、腰に痛みが発生し受傷した。怪我をした当初は病院へ行くほどではなく、自分で手当てをしていたが、良くならなかった為、後日病院へ行った。	22	10～29
12	13～14	店内調理場で調理中、オーダーが入ったためチキンカツをナイフで切ろうとしたところ、カツを押さえていた左手人差し指を誤って切ってしまった。勢い良く切ってしまったため出血が止まらず、救護室で応急処置をしてもらった後に病院を受診した。	33	10～29
		天ぷら専門レストランの客席フロアを小走りで動いているときに、通りみちにラン		30

12	21~22	ドリー袋の太いロープがたれ下がって落ちているのに気づかず、踏んでスリップして斜め後ろに転倒し、右手をついたときに転倒の衝撃で右手首を骨折してしまった。	58	～ 49
12	15~16	店舗内にて重量約20kgの仕入れ肉が入った段ボールを持ち上げようとしたところ、腰に激痛が走って動けなくなり、緊急搬送されそのまま入院となった。年末ゆえ、通常よりも重量があったことが原因と思われる。	36	1～ 9
12	15~16	廃油の一斗缶を裏口ドアのストッパーに利用していた。それを動かす際、油で手が滑り、廃油缶の切り口で、左手人さし指の先を2針縫うけがをした。	18	30 ～ 49
12	13~14	厨房内にて、酢飯を入れた箱を移動させた際、腰に激痛がはしった。	50	30 ～ 49
12	13~14	製麺室で10kg程の麺を持ち上げたとき、右上腕に痛みを感じた。	52	10 ～ 29

出典： https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html